



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成 28 年 6 月 24 日
No.120

当センターの活動（5月）

○センサーカメラを設置



①シカの頭！・・・



②ツキノワグマ



③ニホンザル

5月13日（金）より、哺乳類モニタリング調査用のセンサーカメラの設置作業を開始しました。昨年度は遺産地域周辺に5月から11月まで合計28台設置したところ、生態系に悪影響を及ぼす恐れのある種としてニホンジカが4頭、ハクビシンが1頭撮影されました。今年度はさらに2台増設し、降雪前の11月中旬頃まで調査を実施する予定です。

先日さっそく深浦町方面のデータを回収してきました。昨年ニホンジカが撮影された地点の画像をチェックすると、シカの頭が写っている！・・・①と思いきや、角の形を良く見るとカモシカでした。ここは目の前に水田が広がっていますが、他にもツキノワグマ②やニホンザル③などの大型哺乳類が撮影されており、案外身近なところに野生生物が生息していることに気づかされます。

ニホンジカやその他外来種などが確認された際は、速やかに環境省やその他関係機関と情報共有を図り、皆様にもお伝えしていきます。（有本）

○白神山地世界遺産地域巡視員会議を開催



今年度の巡視等について話し合われました

白神山地世界遺産地域連絡会議は6月4日(土)、西目屋村中央公民館で今年度第1回目の巡視員会議(青森県側)を開催しました。会議では、新たにボランティア巡視員6人を委嘱し、東北森林管理局の委嘱巡視員は30人体制で遺産地域内の巡視を行います。残念なことに遺産地域内ではゴミやたき火跡が散見されており、入山者のマナー向上や違法行為



配布された糞採取キット

の防止を目的に巡視員と関係機関の合同パトロールを7月と8月に各1回実施することを申し合わせました。また、昨年10月には遺産地域内でニホンジカ1頭が確認されるなどその対策が急がれており、環境省職員がニホンジカ糞識別調査の協力を巡視員へ要請しました。ニホンカモシカとニホンジカのふんは形状が非常に似ており見分けることが難しいため、ふんを採取しDNA解析、識別することによりニホンジカの詳細な生息域の把握が期待されます。(石田)

○園児たちの「花の植栽体験学習」



職員の説明に笑顔を見せる子どもたち

5月12日(木)鱒ヶ沢こども園にて、津軽森林管理署と当センター共催で「花の植栽体験学習」を行いました。

子ども達に植物の大切さや自然に興味を持つきっかけを作る事ができないかと当センターで活動を始め、今年で7年目の開催となりました。

園児たちはスギの間伐材から作られたプランターに上手に花を植え付け、大切に水をあげていました。

園児たちは、秋頃まで自分が植えた花のお世話をします。花の生長や香り、木の暖かさを感じる事に繋がればと願っています。(久保)

○「緑の募金」子ども達が呼びかけ

5月13日(金)鱒ヶ沢町緑の少年団が「緑の募金」の街頭募金を行い、児童達が大きな声で募金を呼びかけました。子ども達のがんばりで、多くの方々が足を止め

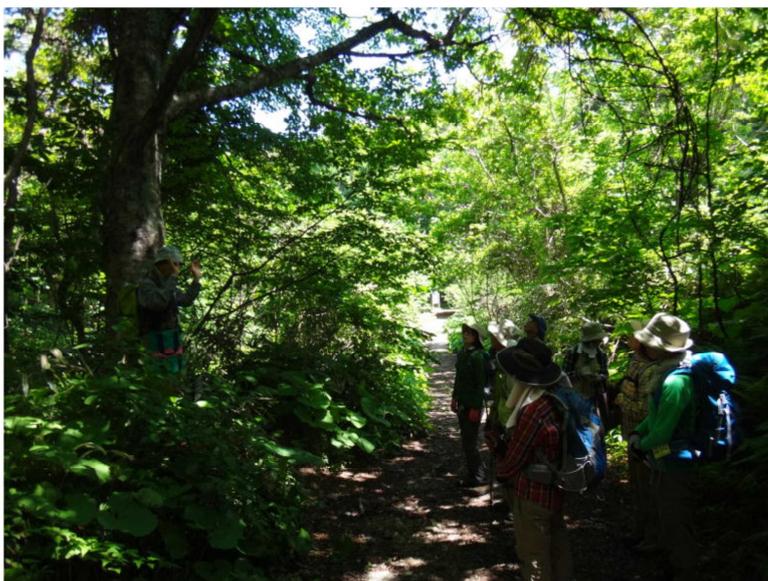


多くの方が募金をしていました

○第一回森林教室（十二湖）



全員で記念撮影



説明に聞き入る参加者の皆さん

募金をしていました。

この募金活動は鱒ヶ沢町緑化推進委員会が行っており、当センターは委員として参画しています。

集まった募金は国内外の植林・育林活動や子ども達の森林環境教育など、「森づくり・人づくり」の為に活用されています。

現在、「緑の募金」では熊本地震復興支援を行っています。詳しくは「緑の募金」公式サイトをご覧ください。(久保)

5月28日（土）今年度第一回目の森林教室を深浦町岩崎にある十二湖自然休養林にて、深浦町と共催で開催しました。当日は天候に恵まれて、32名の参加者は、初夏の湖沼や日本キャニオンなど美しい景観が眺望できたことと思います。

今回は親子参加を含む初参加者が10名となりました。

この日の森林教室は4班に分かれ、地元アオーネ白神のガイドが、十二湖含む白神山地の素晴らしさについて動植物の生態など詳しく解り易く説明しながら森林散策を行ったため、参加者は白神山地の生態系をより理解できたものと思います。

当センターでは10月15日に「晩秋のブナ林と紅葉の溪谷を望む」（西目屋村）として第二回目の森林教室を、自然再生活動を7月23日と9月17日に、また、山の日イベントも8月11日に行う予定です。多くの皆様の参加をお待ちしています。（吉川）

○その他

○ガイド支援

5月24日（火）白神山地ビジターセンターからの依頼により、西目屋村暗門で修学旅行生のガイド支援を行いました。

○五月女菴^{そとめやち}防風保安林（五所川原市十三湖）のクリーン作戦へ参加

5月31日（火）津軽森林管理署金木支署が主催するクリーン作戦へ参加しました。

（詳細は津軽森林管理署金木支署HP「森林パトロール通信」をご覧ください）

イベント情報

「山の日」制定記念

白神のぶな林を学ぼう

開催日時：平成28年8月11日（木・祝）9：00～16：30

開催場所：西目屋村字鬼川辺国有林（津軽峠周辺）

実施内容：植樹体験、ブナ林散策など

募集人数：先着40名様（定員になり次第締切とさせていただきます。）

対象：小学1年生以上（小学生は保護者同伴でお申し込みください）

参加費：1人様1,000円（昼食、飲み物、傷害保険料代含む）

申込先：津軽森林管理署（青森県弘前市豊田2丁目2-4）

森林技術指導官 福長

電話 0172-27-2800 FAX 0172-27-0733

申し込み受付：7月1日（金）～

土、日、祝日を除く8：30～17：15まで

共催：津軽森林管理署、津軽白神森林生態系保全センター

西目屋村、白神山地ビジターセンター

